

五小っ子

平成31年度 学校便り第8号 (6月24日)
(令和元年度)

島原市立第五小学校
校長 永田 俊文



いのち **学校教育目標**
『生命を大切にし、進んで学ぶ
心身ともにたくましい子どもを育成する』
○ やさしさいっぱい ○ かしこさいっぱい ○ たくましさいっぱい
教育目標実現を目指し、子どもたち一人ひとりを大切に、全職員で力を
合わせ、日々の教育活動に取り組みます。

沖縄慰霊の日



「梅雨の候、如何お過ごしでしょうか。」という時候の挨拶が
なかなか書けません、1学期も残すところ1カ
月となりました。プールの準備も全て整いました
し、30日(日)育友会学級対抗ミニバレーボ
ール大会の練習も始まります。

学校も育友会・安中地区も益々充実の日々を過
ごしていきたいと思ひます。

さて、昨日6月23日(日)は『沖縄慰霊の
日』でした。

沖縄県内の小中高校生から募集した「児童・生
徒の平和メッセージ」の最優秀賞者が毎年沖縄全
戦没者追悼式で「平和の詩」として朗読します。

第29回目となる今年は、糸満市立兼城小6年の
山内玲奈さんの作品「本当の幸せ」が選ばれまし
た。

以下全文を紹介しします。

本当の幸せ

糸満市立兼城小学校6年 山内玲奈

青くきれいな海

この海は どんな景色を見たのだろうか
爆弾が何発も打ち込まれ
ほのおで包まれた町
そんな沖縄を見たのではないだろうか

緑あふれる大地

この大地は どんな声を聞いたのだろうか
けたたましい爆音 泣き叫ぶ幼子
兵士の声や銃声が入り乱れた戦場
そんな沖縄を聞いたのだろうか

青く澄みわたる空

この空は どんなことを思ったのだろうか

緑が消え町が消え希望の光を失った島
体が震え心も震えた
いくつもの尊い命が奪われたことを知り
そんな沖縄に涙したのだろうか

平成時代

私はこの世に生まれた
青くきれいな海 緑あふれる大地
青く澄みわたる空しか知らない私
海や大地や空が七十四年前
何を見て何を聞き何を思ったのか



この島が この国が この世界が幸せであるように

お金持ちになることや 有名になることが
幸せではない 家族と友達と笑い合える毎日こそ
が本当の幸せだ
未来に夢を持つことこそが最高の幸せだ

「命どう宝」
生きているから笑い合える生きているから未来が
ある

令和時代
明日への希望を願う新しい時代が始まった
この幸せをいつまでも

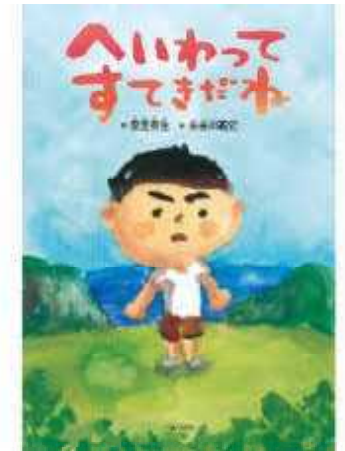
子どもさんと一緒に是非読んでみてください。

『へいわってすてきだね』
与那国町立久部良小学校1年 安里有生

へいわってなにかな ぼくはかんが
えたいよ
おともだちとなかよくし かぞくが
げんき
えがおであそぶ ねこがわらう おな
かがいっぱい やぎのんびりある
いている
けんかしてもすぐなかなおあり
ちようめいそうがたくさんはえ
よなぐにうまが、ヒヒーンとなく
みなどには、フェリーがとまってい
て
うみには、かめやかじきがおよいでいる。
やさしいところがにじになる。
へいわっていいね。みんなのこころからへいわがうまれるんだね。

せんそうは、おそろしい
「ドドーン、ドカーン」ばくだんがおちてくるこわいおと。
おなかがついて、くるしむこども。
かぞくがしんでしまつてなくひとたち。
ああ、ぼくは、へいわなときにうまれてよかったよ。
このへいわが、ずっとつづいてほしい。
みんなのえがおが、ずっとつづいてほしい。
へいわなぞく、へいわながつこう へいわなよなぐにじま へいわな
おきなわ へいわなせかい

へいわってすてきだね。
これからも、ずっとへいわがつづくように
ぼくも、ぼくのできるからがんばるよ



五小平和集会(8月9日)に向けた準備も既に始まっています「いのりの日集会」と共に、とてもとても大切な集会です。